

会 議 記 録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 22 年 5 月 19 日(水)	開催時刻	9 時 30 分から 12 時 00 分
会議名	上田城南地域協議会(平成 22 年度第 2 回)		
出席者	田中会長、宮島副会長、荒井委員、荒木委員、石井孝二委員、石井信子委員、石坂委員、岩木委員、上原委員、木内委員、清水委員、竹田委員、玉井委員、西川委員、西沢委員、堀内委員、宮崎委員、山浦健太郎委員、山浦正嗣委員 (欠席委員)金井委員 (事務局)山崎まちづくり協働課地域振興政策幹、 林まちづくり協働課課長補佐、堀内まちづくり協働課主査 (説明者・案内者)細川塩田公民館長		
会議次第	<p>1 開会(山崎まちづくり協働課地域振興政策幹) ・人事異動に伴いあいさつ 大沢上下水道局長(前政策企画局長) 宮川政策企画局長、小宮山まちづくり協働課長</p> <p>2 会長あいさつ 前回委嘱を受け、市長から熱意をこめたお話をお聞きした。上田の市政の中で、地域協議会を組織して、予算をつけた魅力アップ応援事業の形の中で、市長の期待を感じた。これからどのような方向を目指していくのか。城南地域協議会は、皆さんに関心を持ち続けていただくことが、一番大事だと思う。引き続きよろしくお願ひしたい。本日は後半に、塩田公民館の施設を見せていただく。これからの城南公民館の建替えに大いに期待をしながら、ご意見を頂きたい。</p> <p>3 会議事項 (1) 第 3 期の協議の進め方について 資料：「上田城南地域協議会の意見とりまとめ」より事務局から説明</p> <p>【主な意見等】 委員：4 分科会では欠席者が出ると、人数が少なく進まない。分科会の数を減らしたほうがいいのではないか。 委員：全体会議を行い、分科会での情報の共有化を図りたい。細分化してしまうと情報の共有化に時間がかかってしまう。分科会のテーマを絞ったほうがいい。 委員：2 つの課題で進めてはどうか。</p>		

委員：各分科会のことを検討したうえで、まとめたり縮小したり考えたほうがいい。

委員：第1～第3分科会は共通性があるが、第4分科会は別に考えたほうがいい。2つにまとめられるのではないか。

委員：今までないテーマを1つ取り入れ、以前のテーマを2つにし、3つくらいのテーマで進めてはどうか。

委員：自治会との関わりもあるので、新しくテーマを作ってもいいのではないか。

委員：いかに住みよいまちづくりをするかが、協議会の一番のテーマだと思う。分科会協議の後、5分程度の報告で終わってしまえば、協議会は成り立たない。全体の意見を求める形で進めていくほうがいいのではないか。自治連との協議の仕方については、慎重に進めるべきだと思う。自治連と協調して進めて欲しい。

委員：この2年でどのような分科会が必要かを先に議論したほうがいいと思う。

事務局：地域まちづくり方針に基づいて、第2期の分科会テーマが出来た。今の地域の課題をお話し頂きたい。皆さんの問題意識をお聞きして、次回にまとめたい。

委員：協議会が審議している中に、自治会と協力しなければいけない問題があった場合、協働提案は出来るのか。

事務局：地域協議会は行政の委員で、市の組織の中に位置づけられている附属機関なので、性質が違う。

会長：連合自治会の皆さんとの協力体制の構築については、私なりに気を使ってきた。協議会委員さんは、選出団体の母体がある。そういった立場もふまえながら協議会の中でご意見を頂きたい。その意見を、城南地域協議会としてひとつの意見にまとめ上げていくのが、協議会での作業と思う。

(2) わがまち魅力アップ応援事業の採択結果について

資料：「22年度 個性あるふるさとづくり事業一覧表」(上田城南地域協議会)

「22年度 特色あるまちづくり事業一覧表」(上田城南地域協議会)

「平成22年度 上田市わがまち魅力アップ応援事業補助金交付審査調書」
より事務局から説明

【主な質疑等】

委員：わがまち魅力アップ応援事業の補助金は、市としてどのくらいの予算を立てているのか。城南地域としてはどのくらいという枠はあるのか。

事務局：魅力アップ応援事業の財源は、地域振興事業基金の果実ということで、合併時に36億円ほど積み立てた基金があり、それを運用してその利益を財源として活用していて、年4千万円を原則として充当予定している。城南地域については、人口割による基本的な枠で、420万円ほどになる。ただし、少ない申請の地域もあるので、全体で多いところもでてくる。

委員：城南地域の予算枠は実際あるのか。

事務局：これまでは枠の問題はなく審査できたが、今後は金額にとられるような形になる可能性がある。その枠内で決めていただくようになると思う。

委員：特色あるまちづくり応援事業の中に、正副会長会で決めた欄があるが、これはどのようなものなのか。

事務局：地域的な申請は、9地域協議会で審査するが、全市的な事業については、各地域協議会の正副会長さんにお集まりいただき、審査いただいて決定している。

委員：全市での情報は知らせていただけるのか。

事務局：次回に一覧表をお配りする。市のホームページにも提示しているので、ご覧いただければと思う。今年度も事例集を出す予定でいる。

(3) その他

4 連絡事項等

次回会議開催について

平成 22 年度 6 月 23 日（水） 開催予定

5 塩田公民館の見学

資料：「新しい塩田公民館について（経過報告）」より塩田公民館長から説明

- 1 事業の目的
- 2 建設に至る経過
- 3 事業経過及び今後の予定
- 4 施設の概要
- 5 22 年度の公民館利用にあたっての留意事項

～塩田公民館見学～

閉 会